

題材名 出前授業「人物画の魅力 - 体の動きを見てみよう（なしにてるのかな）」

ねらい

映像資料（田中実，杉山寧，石井柏亭，門井掬水の作品など）の鑑賞と鑑賞をより深めるための体験的活動をすることによって，絵画作品（人物画）に親しみ，鑑賞の能力を高めることができる内容とする。

主な児童の活動 T（担任の先生）	GT（方波見） オペレーター：	時間
<p>1 人物画を描く際，楽しいと感じる場面，難しいと感じる場面などについて発表し，関心・意欲を高める。 これまでの経験から想起する。 学級の実態に合わせて</p> <p>2 本時のねらいを知る。</p>	<p>担任の先生と共に，児童の発表に対して，共感的な言葉かけや解説などをする。</p> <p>美術館から持参した複製画などを利用して，鑑賞活動に対する関心・意欲を高める。</p>	10
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>体の動きを見てみよう</p> </div> <p>3 映像資料を鑑賞し，絵画作品の魅力について知る。</p> 	 <p>DVD 7 - 5「人物画の魅力」 （5分） DAL上映 （5分） 小杉未星「楽人と踊子」</p>	15
<p>4 動きのある人物スケッチを描く。 ポーズ人形を使って，関節の動きを確認する。 グループ内でお互いポーズをとりながらスケッチをする。</p>  <p>7 本時のまとめをする。 活動の振り返りを行い，今後の表現活動に生かせるようにする。</p>	<p>人物画の描き方について，実演しながら説明する。 担任の先生と協力して，個別指導に当たる。人形の動きと，自分の動作を合わせて行いながら，顔，胸，腰，肩，肘，股関節，膝，手首，足首を意識させたい。（クロッキーのように線の表情は不要）</p> <p>活動の賞賛をすると共に，質問等があれば受ける。</p>	20
<p>美術館の紹介と終わりの挨拶</p>		

4年生の人物画表現は，動きの雰囲気大切に描くところと，よく見て形や量感をしっかりとらえて描くところが混在している時期である。今回の体験活動は，主観的な観察表現（見取る力の発達）を強く意識して取り入れている。通常の図工の時間では，きちんと学年間で系統立てて「試しの時間」などを取り入れていくと，基礎的な技能を身につけるのに効果が期待できる。